

## トイレに流せる製品の IWSFG 規格原案の公開について

本会は、カナダ上下水道協会、スペイン上下水道協会、オーストラリア水協会とともに、2017年6月上旬に「世界下水道トイレに流せる製品問題検討会議」(IWSFG)を設立しました。IWSFGは、下水道事業におけるトイレに流せる製品問題(管、ポンプ、スクリーンの閉塞、堆積物増加、労働災害など)を軽減するために、下水道管理者が受け入れ可能な製品の規格(試験方法と合否基準)を策定し、普及させることを目的にしています。

この度、7月23日に「トイレに流せる製品」の IWSFG 規格原案が WEB サイト上 (<http://iwsfg.org/>) に公開され、9月1日まで意見を募集しております。

なお、本会は、会員向けに骨子のみを和訳しておりますので、必要な方は国際課までお問い合わせ下さい。

本会は IWSFG の一員として、原案作成に関与しており、その過程で、IWSFG の崩壊性試験 (3A、3B、3C) が JISP4501 (トイレットペーパーのほぐれやすさ試験規格) と同レベルの水中での崩壊性 (ほぐれやすさ) を要求することを確認しています。従って、本規格の合格製品が国内流通したとしても、下水道及び水環境への悪影響はないと考えています。

なお、本会は、JISP4501 を満足するトイレに流せる製品は「トイレットペーパー」とみなします。これは会員多数が支持するものです。また、消費者庁は平成 24 年 12 月 21 日に「トイレに流せる」、「水にほぐれる」といった表示の景品表示法上の考え方についてニュースリリースを出しています(下記 URL 参照)。

([http://www.caa.go.jp/representation/pdf/121221premiums\\_1.pdf](http://www.caa.go.jp/representation/pdf/121221premiums_1.pdf))

問い合わせ先： 国際課 (メール：[kokusai@ngsk.or.jp](mailto:kokusai@ngsk.or.jp)、電話：03-6206-0289)